

出水期到来

～大雨、台風への対策をしよう～

危機管理課 ☎ 66-1208

土砂災害は身近な災害

梅雨や台風により集中豪雨や洪水が発生しやすい6月1日～10月31日を「出水期」と言います。

近年、異常気象による集中豪雨や台風の大規模化により、人的・物的被害が全国各地で発生しています。幸いにして、本市では人命に関わる大規模な自然災害は発生していません。しかし、大雨による土砂崩れで、毎年のように道路が通行止めになるなど、山間部を抱える市として土砂災害は常に身近な災害であると言えます。また、海岸部においては、台風の高潮による浸水被害も想定されています。

これから本格的な出水期が到来します。大雨、台風による自然災害から身を守るため、準備をしましょう。



事前に確認しよう！

本市では、避難情報の判断・伝達マニュアルおよび地震、津波、洪水・土砂災害、高潮などの各種ハザードマップを作成しています。

日頃の備えがいざという時に役立ちます。災害に備え、自宅、学校、職場など普段から利用する場所にとどのような災害の危険性があるのか、どの段階で避難しなければならぬのか、事前に確認しておきましょう。

避難情報の判断・伝達マニュアル



警戒レベル	避難情報等	状況	市民がとるべき行動
5	緊急安全確保※1	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4までに必ず避難！			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員退避
3	高齢者等避難※2	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報(気象庁)	今後の気象状況悪化のおそれ	災害の心構えを高める

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も避難の準備、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難情報の判断・伝達マニュアルは2月に全戸配布、ハザードマップは市ホームページに掲載しています。

